

経営比較分析表（平成29年度決算）

高知県 安芸市

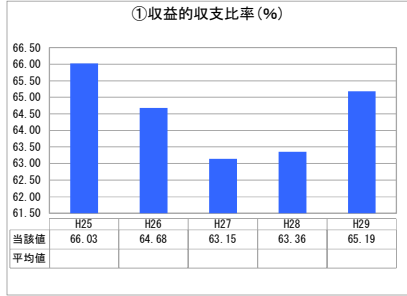
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	33.39	70.40	2,268

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,736	317.21	55.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,860	1.69	3,467.46

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



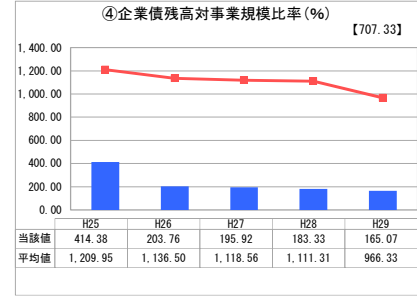
「単年度の収支」



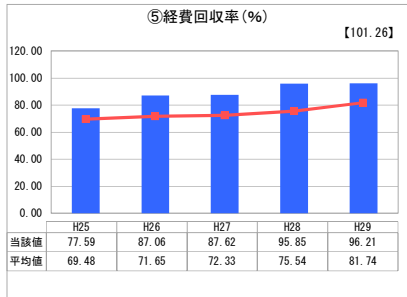
「累積欠損」



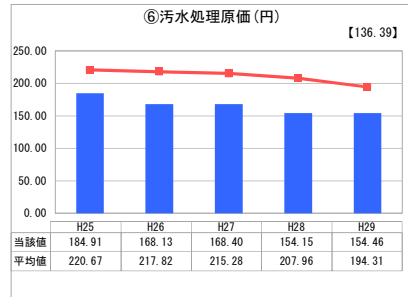
「支払能力」



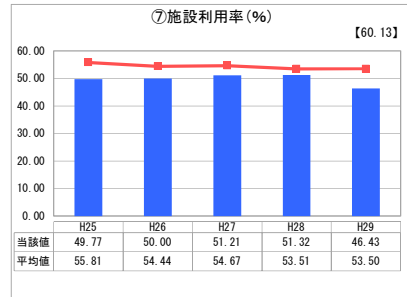
「債務残高」



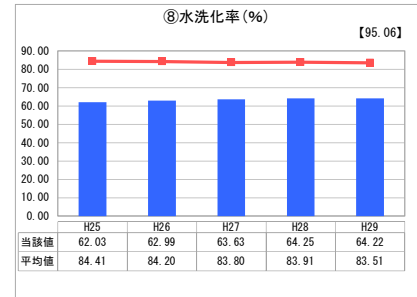
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

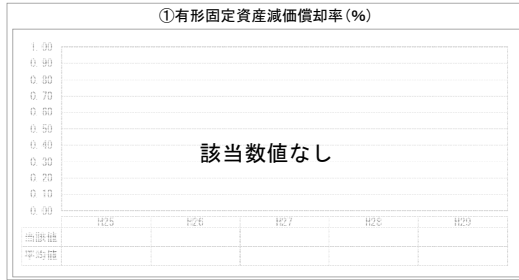


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

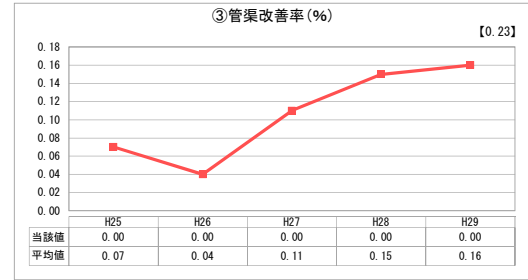
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、比率が上がっているが100%に満たず、低い水準にある。

④H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、比率が極端に下がった。企業債残高は年々減少しているが、残高自体が著しく減少したわけではない。企業会計における負担は下がったとはいえ、引き続き経営改善に取り組む必要がある。

⑤H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、回収率が極端に上がった。しかしながら、経営状況が好転したわけではなく、引き続き経営改善に取り組む必要がある。

⑥H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、単価が極端に下がった。しかしながら、汚水処理そのものが効率化したわけではなく、今後も不透明水対策などに取り組む必要がある。

⑦接続率が低いことやいくつかの大口事業所が接続していないことにより、平均値を下回っている。接続率の向上や大口事業所の接続により、施設利用率を向上させる必要がある。

⑧毎年度微増しているものの平均値を下回っており、水洗化率向上のための普及啓発活動の強化が必要である。

2. 老朽化の状況について

③現時点では更新が急がれる管渠は無い。

全体総括

平成26年度から処理場の長寿化に取り組んでいたが、平成30年度で完了する予定である。今後はストックマネジメント計画を策定し、施設の改修に取り組むが、多額の費用が掛かる可能性があるため、これまで以上に厳しい経営が見込まれる。料金水準適正化の検討、接続率向上のための普及啓発などに取り組む、他会計繰入金への依存度を下げる必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。